



令和4年8月10日

各 位

会 社 名 株式会社土木管理総合試験所
代表者名 代表取締役社長 下平 雄二
(コード番号：6171 プライム市場)
問合せ先 専務取締役 西澤 清一
電 話 026-293-5677

業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

令和4年2月10日に公表いたしました令和4年12月期第2四半期連結業績予想と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 令和4年12月期第2四半期業績予想数値との差異（令和4年1月1日～令和4年6月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する四半期純利益	1株当たり四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 3,807	百万円 303	百万円 308	百万円 180	円 銭 12.7
今回実績値 (B)	3,292	242	251	143	10.1
増減額 (B-A)	△515	△61	△57	△37	-
増減率 (%)	△13.5	△20.1	△18.5	△20.6	-
(ご参考) 前期実績 (令和3年12月期第2四半期)	3,402	194	286	172	11.9

2. 差異が生じた理由

令和4年12月期第2四半期累計期間(1月～6月)におきまして、前年、フランチャイズ店(以下FC店)の出店を加速させ、前年だけで7店舗の出店を行い、それに伴って当社の既存支店の閉鎖及び出張所化も進めております。少子高齢化、人材不足の中、事業の全国展開を推進するために、地方での事業については地場の企業にFC店としてお任せし、当社は少ない人員でより効率的に新規事業等で収益を上げていくことに取組んでまいりました。今期はその転換期となり、FC店の出店による収益と既存店の閉鎖による損失の差を新規事業の推進によって補う構想でありましたが、新規事業は様々な業界へのアプローチが必要なため、オミクロン変異株の蔓延による営業活動の停滞や建設業界全体の原材料費の高騰等によるコスト増の影響から、適正価格での受注が困難となり、業績予想より下振れる結果となりました。

なお、通期連結業績予想につきましては、新規事業の推進等による挽回を想定しておりますので、現状で変更はございません。今後、修正が必要となった場合は速やかに公表いたします。

以上